

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動について



家族の笑顔が増えますように

目的は？

家族のコミュニケーションを深めることです。
家族で1つの目標に取り組むことで家族の絆が強くなります。
子どもにとって家族の見守りや励ましは、生きる力の土台となります。

だれが？ どんな約束？

- ◆【家族みんなが】…「目を見てあいさつするよ」「毎日夕食の時に今日の出来事を話すよ」「家の仕事を分担するよ」など。
- ◆【子どもを中心に家族全員が】…学習の時間には家族のサポートを。「学習の時間には家族もテレビを消して、本や新聞を読むよ」など。
- ◆【保護者が】…「毎日笑顔で接するよ」「毎晩1つ良いところを伝えるよ」「バランスの摂れた食事を作るよ」など。

取り組み方は？

- ①家族で話し合って「わが家の約束」を決めます。
- ②取組を実践カード等に記録します。
- ③実践中や実践後に、家族で互いの思いを伝え合います。

約束を守れないときは？

- ◆守れない原因を見付け、「どうしたら守れるようになるか」という解決策を家族で考えます。
- ◆この運動の「約束」は「目的でなく手段」です。「約束」が守れるように家族で取り組み、守れたことを一緒に喜び合うことをめざします。「叱って終わり」にならないように気を付けましょう。

お勧めの取組 方法は？

- ◆市町P連の取組、市の取組、園や学校の伝統的な取組などと併せて、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を実践することをお勧めします。
- ◆子どもの発達段階に応じた例
 - 全般：挨拶、「早寝・早起き・朝ごはん」、情報モラル（メディアリテラシー、時間管理等）等
 - 乳幼児期 排便、着替え等
 - 小学校：家庭の仕事、家庭学習等
 - 中学校：家庭での役割、学習習慣等